日本共産党安曇野市議団の活動と見解を紹介します。　堀金三田1160　〒 fax73-4465　・　080-1364-3914

日本共産党安曇野市議団ニュース

2026(令和8)年
7月15日
日本共産党
安曇野市議団
No.72

6月定例会 デマンド交通利便性向上計画策定へ

豊科北小児童クラブ工事費増！ 三郷小児童クラブ設計段階へ

令和8年度一般会計は補正により485億7700万円に

6月議会の補正の主な事業

○**デマンド交通**の利用者増により予約が取れない状況の解消のため、来年度までの2年間で人流調査や実証運行に720万円の増額。

○**介護・福祉施設の非常用自家発電設備**の設置495０万円の増額。

○児童遊園(全25か所)の遊具更新1億5810万円の増額（更新しない遊具の撤去は済んでいる）

○**豊科北小児童クラブ**の利用児童増加による工事費増と**三郷小児童クラブ**基本設計業務委託9550万円の増額。

○**南穂高認定こども園の空調機改修**の基本設計業務委託70万円の増額。

○夏季、**ラーラ松本、利用助成費**960万円の計上。割引券を全戸配布等の予定。



子ども・子育て会議条例の改正に反対

これまで別々にあった**こども計画検討会議**（以下前者）を**子ども・子育て会議**（以下後者）に統合する条例案です。後者の委員の人数に変更がなく、余裕がないとして反対しました。

もともと多くの委員が重複していたものの、会議の統合によって対象年齢が18歳までから39歳までに拡大することから、当事者およびその保護者としての委員が必要です。市の「子どもの権利条例」にもあるように当事者である子ども自身の意見を大事にするなら、子どもの委員も望まれます。前者で「教育委員会が適当と認める者」とされていた者も引き続き尊重されるべきです。したがって定員数15のままでは委員選定に非常に苦慮することと思われます。

市民の願い 陳情3本・請願1本

社会福祉法の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情

緩和は、職員の負担増加で離職者がさらに増え、事業所の存続を危うくする。国会で成立しても陳情項目を政府に伝えることは意味がある」として菊池議員が賛成討論をしましたが、否決されました。

「人口減少地域での介護サービスの人員配置基準の

公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

「安曇野市の教育に全く必要ない」として臼井議員が反対討論を行い、不採択となりました。

幼児期からの包括的性教育の推進のため意見書提出を求める陳情書

福祉教育委員会で継続審査となり、9月定例会まで、委員会で研究等がされます。

「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・教育費国庫負担制度の拡充」を求める請願書

全員賛成で採択されました。

定数削減法案　審議入りするな！

議員提出の意見書　可決

議員定数のあり方は、今年４月以降衆議院選挙制度に関する協議会において全７会派で議論を重ねてきました。ところが6月24日、この経過を無視して自民・維新の与党から定数削減法案が提出されました。法案は衆院の比例代表のみ45削減し、多様な意見を切り捨てるものです。野党が結束して審議入りを見送るよう求める情勢の中、市議団は、急遽衆参両院議長宛に下記意見書の提出を提案しました。意見書は１４対６で可決されました。

衆院議員定数削減法案の国会審議を見送り、衆議院選挙制度に関する協議会で議論することを求める意見書　（一部略）

自民党と日本維新の会は6月24日、衆院議員定数削減法案を国会に提出しました……法律の施行から1年以内に協議会の結論が得られなかった場合、自動的に比例代表の定数のみを45議席削減……与党案により、全体の465議席に占める「比例代表の割合」が37.8%から31.2%へと大きく圧縮され……比較的小規模な政党が議席を獲得しにくくなり、結果として大政党の議席占有率が高まる傾向が強まります。選挙制度はできるだけ民意が正確に反映されるべきですが、すでに現行制度でも小選挙区では大政党が有利になっています。今年の２月の総選挙でも、自民党は比例代表の得票率36.7%に対して67%の議席を得ている一方、他の政党は、議席占有率が比例代表の得票率を大きく下回っています。これは、小選挙区で少数政党の死票が大量に出て（２月の選挙でも全得票数の48%）、少数政党の民意が切り捨てられることによるものですが、比例代表の定数を45減らすことによって、この傾向は一層顕著になります……

第33回 語ろうよ、私のまち

日時　7月18日（土）
午前10時～12時

場所　堀金公民館３階
会議室１

6月議会の報告と9月議会に向けたくらしの要求を語り合いたいと思います。

ぜひお誘い合わせてご参加ください。